

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成 30 年度第 2 回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会
2. 開 催 日 時	平成 31 年 2 月 22 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 3 時
3. 開 催 場 所	松阪市健康センターはるる 3 階健康増進室
4. 出席者氏名	委員 16 名内 14 名
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	1 名
7. 担 当	松阪市健康福祉部健康づくり課 TFL 0598-20-8087 FAX 0598-26-0201 e-mail ken.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

1. 平成 31 年度以降のフッ化物洗口推進事業について
2. 平成 31 年度のライフステージ別の取り組みについて

議事録・委員名簿

別紙

平成 30 年度松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会委員

No	氏 名	団 体 等	役職	備考
1	なが い まさ ひこ 長 井 雅 彦	松阪地区歯科医師会	会長	会長
2	つ だ まこと 津 田 真	松阪地区歯科医師会	副会長	
3	にし むら みつ のり 西 村 充 功	松阪地区歯科医師会	専務理事	
4	すぎ やま ひろ き 杉 山 拓 紀	松阪地区歯科医師会	理事	
5	むら い とし ゆき 村 井 俊 之	松阪地区薬剤師会	理事	
6	うえ やま ゆき ほ穂 上 山 幸 穂	三重県歯科衛生士会松阪支部	研修担当	
7	せ とぐち なお こ 瀬戸口 直 子	三重県歯科衛生士会松阪支部	研修担当	
8	うめ たに せい 梅 谷 聖	松阪市PTA連合会	書記	
9	ば ば けい こ 馬 場 啓 子	市民委員	管理栄養士	
10	おか だ よし かず 岡 田 良 和	松阪市立小学校長会	校長	副会長
11	よう だ おうじ まさ ひろ 山田大路 雅 弘	松阪市立掃水小学校	教諭	
12	わた なべ あ き 渡 辺 亜 希	松阪市学校保健会養護部会	養護教諭	
13	なか むら あき こ 中 村 昭 子	松阪市立幼稚園長会	会長	
14	いの うえ み ほ こ 井 上 美保子	松阪認可保育園連盟	副会長	
15	ふく だ な お こ 福 田 奈穂子	松阪市立保育園長会	園長	
16	うえ しま かず むね 植 嶋 一 宗	松阪保健所	所長	
アドバイザー	おく の ゆたか 奥 野 ゆたか	三重県健康福祉部	歯科衛生士	

平成 30 年 4 月

平成 30 年度第 2 回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会議事録（情報公開用）

事 項	発 言	内 容
開会 13：30	事務局 (健康づくり課)	<p>お待たせいたしました。</p> <p>定刻になりましたので、ただ今から、「平成30年度 第2回松阪市歯と口腔の健康づくり推進協議会」を開催させていただきます。</p> <p>本日、皆様には、大変お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、健康づくり課長でございます。議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>まず始めに、皆さまにお知らせいたします。</p> <p>本日の会議は、松阪市審議会等の会議の公開に関する要領の規定により、会議を公開とするものとし、会議録作成のため、会議の状況を録音させていただきますので、あらかじめご了承下さい。</p> <p>また、本日は傍聴に <u>1 名様</u> がお越しいただいております。</p> <p>なお、傍聴席の報道関係者による写真撮影をさせていただきますので、ご理解いただきますよう宜しくお願いいたします。</p> <p>本日の資料につきましては、事項書、委員名簿、フッ化物洗口事業の資料 1、2、3、平成 31 年度以降のフッ化物洗口推進事業についての資料 4、5、平成 31 年度ライフステージ別の取り組みについての資料 6 となります。ごさいますでしょうか。</p> <p>本日は、松阪市 P T A 連合会様、松阪認可保育園連盟様が欠席となっておりますが、委員 16 名のうち出席者 14 名で、規則第 6 条により成立していることをご報告させていただきます。</p> <p>それでは、開催にあたり、会長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。</p> <p>会長宜しくお願ひします。</p>

	<p>会長</p>	<p>みなさん、こんにちは。お忙しいところ出席いただきまして、ありがとうございます。今日も松阪市の市民の皆様 の健康に携わる協議会ですので、活発なご意見をいただき たいと思います。よろしくをお願いします。</p>
	<p>事務局 (健康づくり課)</p>	<p>ありがとうございました。これより、事項書2の事項に 入ってまいります。議事・進行につきましては、規則第 6条により会長にお願いし、進めてまいります。</p>
	<p>会長</p>	<p>それでは、規則に基づきまして、私が議長を務めさせて いただきます。 それでは事項書2 平成30年度歯と口腔の健康づくりの 取り組み経過報告の(1)フッ化物洗口事業について事務 局より報告をお願いします。</p>
	<p>事務局 (こども未来課)</p>	<p>フッ化物の洗口事業につきましては、保育園19園、幼稚 園10園今年度させていただいております。資料1、2、3 をご覧くださいますと、保護者の出席状況等が書いてあり ます。新規の事業園につきましては、保護者の説明会、園 児指導実施等をしていただいております。薬剤管理につ きましても、ご相談を受けながら、新しい今年度の保育園3 園、幼稚園3園につきましては実施をさせていただいて、 年明け以降全ての園でフッ化物洗口の薬剤を使って行っ ています。継続園につきましては、歯科指導に入らせてい ただいた際にうがいの状態を確認したり、巡回等の時に園児 の様子を見せていただいております。資料1の4をご覧 ください。フッ化物洗口の開始年度としましては、平成24年 から今年度までに保育園19園、幼稚園も私立を含めると 12園になっております。取り組みとしましては、まだ未実 施の園があります。私立の保育園につきましても、お話等 を今年度いただいておりますので、平成31年度につ きましてはまた色々なご相談を受けながら新しい事業の実 施の方に向けて詰めていきたいと思っております。</p>
	<p>(学校教育課)</p>	<p>今年度実施6校の報告について、そして来年度実施6校と 今年度の取り組みの報告をさせていただきます。まず、ホッ チキス止めの資料1の2をご覧ください。今年度新規実施 小学校6校の報告になっております。今年度6校ですが、</p>

保護者説明会を9～11月の初めにかけて行いました。歯科医師会の方々には大変お世話になりました、ありがとうございました。そしてその横にあります、児童指導ということで、これは歯科衛生士会の方々には本当にお世話になりました。ありがとうございました。このような形で10月から11月にかけて行いました。11月に各6校実施を始めております。そこに書いてある通りなのですが、松江小学校は金曜日の昼休憩があり、掃除があつて、5限目の始まる前に行っております。伊勢寺小学校は火曜日の朝の会の時、それ以外の4校に関しましては、毎週金曜日の朝の会の時に実施しております。今年度の反省ということで、2月12日（火）に事業報告会というのを行いまして、今年度実施6校の養護の先生方にお集まりいただきました。本当にどの学校もおおきなトラブルなく、スムーズに進めていただいております。続きまして資料2をご覧ください。A41枚の横の表になっているものです。来年度実施小学校6校に関しましても、今年度から動いております。まず7月13日にフッ化物洗口の事業説明会ということで、来年度実施6校の管理職1人と養護の先生1人にお集まりいただきまして、健康づくり課より概要説明を行わせていただきました。そして先進地視察ということで、まず12月20日学校教育課主催ということで岐阜県山県市大賀小学校という小規模校50人に満たない小規模校なのですが、そこに実施6校、各校1人参加ということで校長先生、教頭先生、養護の先生方とその他の方々で参加いただきました。本当に参考になる、一生懸命な子ども達の姿を見させていただきました。そして年が明けまして1月17日には県歯科医師会主催の先進地視察ということで、美濃加茂市立山手小学校といひまして、逆に先程の学校とは違って大規模校です。ここは歯みがきの取り組みでも一生懸命取り組んでいる学校で、そういった辺りからもしっかり学ぶことができました。これについても、来年度実施6校から各校1人で、教頭先生1人と養護の先生方5人でしたが参加いただけました。そして2月7日には松阪地区歯科医師会に大変お世話になりました。その主催のフッ化物洗口の研修会。来年度実施6校に関しましては各校1人参加いただくということでお願いしましたが、それ以外からも合わせまして小中学校より22人の参加がありました。あと保護者への周知ですが、一日入学は終わりましたが、その時に学校長から来年度フッ化物洗口を

	<p>(健康づくり課)</p>	<p>開始しますという辺りを案内していただいております。そして、来年度 4 月に各校 PTA 総会が行われますが、その時には全保護者への周知ということで、これも校長先生になると思っておりますが、ご説明をいただく予定にしております。</p> <p>今年度、私立幼稚園の梅村幼稚園においても 4 歳児、5 歳児でフッ化物洗口事業を実施しています。詳細については資料①の通りになります。年末に大きな行事があったため、洗口液での実施は新年からになったと報告を受けております。園児たちは十分に水でのブクブクうがいの時間を取っていたこともあり、全園児上手に洗口が出来ているとのこと。また本日の資料とは別に、皆様に平成 31 年度の保育園・幼稚園と小学校用の新規用の実施要領と継続園用の実施要領を皆様にお配りさせていただいております。先日、今年度新規実施施設の担当者の皆様にこちらの実施要領を基に次年度の事業説明をさせていただきました。こちらの実施要領と共に幼稚園・保育園用、小学校用と 2 種類の Q&A も配付させていただきました。こちらは三重県のマニュアルにある Q&A を基に松阪地区歯科医師会の先生方のご助言をいただき作成させていただきましたのでご報告させていただきます。</p>
	<p>(健康づくり課)</p>	<p>歯と口腔の健康づくり推進協議会専門部会の報告をさせていただきます。お手元の資料③をご覧ください。こちらの専門部会は昨年引き続き小学校へのフッ化物洗口事業の導入を行うにあたって具体的なことを協議していく場として開催させていただきました。委員は 7 名で当協議会の委員からの選抜となっています。事務局として担当部局の学校教育課と健康づくり課から出席しております。今年度は、12 月 13 日、1 月 10 日の計 2 回開催させていただきました。</p> <p>協議内容は学校教育課からの平成 32 年度実施する 6 校の提案と意見交換、平成 31 年度から実施していくにあたってのタイムスケジュールについて協議を行いました。詳細については後程、事項書 3 の協議事項において学校教育課より提案をさせていただきますので宜しく申し上げます。また平成 31 年度の具体的なタイムスケジュールについて歯科医師会、学校教育課、健康づくり課で調整を行い新年度初めに実施 6 校へ通知をしていくことになりました。次年度</p>

		<p>からも新しく実施していく学校の選定や今後の進め方等について協議していく場としてこちらの専門部会を開催していきたいと考えています。以上専門部会の報告とさせていただきます。</p> <p>次に、先ほど「フッ化物洗口実施要領とQ&A」の紹介をさせていただきましたように、新しく始める幼稚園・保育園・小学校、及び、継続して実施する幼稚園・保育園に対して、スムーズに実施するために、実施要領等を配布させていただきます。</p> <p>先進地では、フッ化物洗口事業マニュアルが作成され、マニュアルに基づいて、事業が実施されています。事務局といたしましても事業全体のマニュアル作成に向けて、歯科医師会を始め関係団体の皆様の協力も得ながら、進めたいと考えております。</p> <p>専門部会に出ていただいた先生方、本当にご苦労様でした。ありがとうございました。</p> <p>ただいま事務局より説明のありましたフッ化物洗口推進事業の報告について、ご意見、ご質問はございませんか。 (質疑応答)</p> <p>フッ化物洗口事業については、今回提示のありまし平成30年度フッ化物洗口事業新規実施園報告資料①の1の中で、上の方から色々な幼稚園・保育園の実態が書いていただいておりますが、特に備考の中に少し、それぞれの保育園で迷ったり混乱しているなというところが文章ではちょっと見受けられます。実は、上から3つ目の駅部田保育園ではアレルギーが心配なためしないということですが、これは園全体でアレルギーを心配しているからしないという意味なのでしょうか。それか、例えば中川幼稚園は、飲み込む恐れがあるためもう少し大きくなるまでしない。まあ、弾力的な記入の仕方だったと思うんですが、5歳くらいをめどにしようとしておられるのでしょうか。一応誤嚥ということもあるようですが、誤嚥をしないようになったところまでは水でしっかりとトレーニングをするということも、こちら承知しているところなんですが、その2点等についてはどのように伝えていらっしゃるのでしょうか。お教えてください。</p>
	<p>会長</p>	
	<p>委員</p>	

	会長	<p>これは、洗口を今していない人の理由だと思うんですが。</p>
	委員	<p>中川幼稚園におきましては、4歳は1人、説明会を聞きましたが保護者が洗口していない方がおまして、その方に理由を聞きましたら、飲み込む恐れがあるためもう少し大きくなるまではしないと、保護者の方がおっしゃられるんですが、私どもの方ではその点一切心配しておりませんし、子ども達も上手に取り組みしておりますので、何ら心配していないんですが、説明会を受けてもやはりお二人くらいはちょっと取り組まないとおっしゃられる方がありましたので、その方につきましては水で他の子と何の違いもないようなプッシュで、みんながフッ化物をしている時水うがいをしております。今後取り組むことになるつもりでいられるんだと思います。</p>
	委員	<p>了解いたしました。会長の方からも注釈をいただきまして、個人対応ということの事例ということですね。駅部田保育園のアレルギーというのも同様ですね。</p>
	委員	<p>保護者さんの考え方というのもありまして、個人的なことです。フッ化物洗口の話も一応聞かれたんですが、説明会にも来ていただいたんですが、最終的に保護者さんがもうちょっと心配なので様子を見ます、みたいな感じで今年は。4歳の子なんですが、そう言っています。</p>
	委員	<p>個人事例に関しても対応いただきまして、ありがとうございます。了解いたしました。</p>
	会長	<p>ありがとうございました。 次に、(2)の関係団体の取り組みについてフッ化物洗口事業やそれ以外での平成30年度に取り組まれた各団体の報告をいただきたいと思います。</p>
	委員	<p>松阪市の歯と口腔の健康づくり推進条例に則って、各住民一人一人が、子どもが生まれてから亡くなるまで、それぞれのライフステージの中で健康課題が異なって、それがまたぶつ切れではなくて1人の人間がずっと生涯、成長から終焉を迎えるというところの中での課題ということの中で、まず課題の改善のためにフッ化物洗口を子ども達には</p>

していただいておりますというところで、皆さんもそういうところは十分ご承知のことだと思います。ですので、協力もいただいておりますと思います。

その他に、最近歯科医師会としての取り組みでちょっと新しい取り組みがありますのでご紹介をさせていただきます。歯周病は、青年期から問題になってきます。実は、発端は中学校辺りからなんです、歯槽膿漏、要するに歯周病というものの対応、それが歯科単独での対応ではなくて、実は医科の糖尿病、成人病との兼ね合いが非常に強く関わり合っているということが、昨今信憑性を持って周知されてまいりました。日本国中です。その中で、実際には成人、あるいは中年以降の方にとっての歯周病というものは、子どもの時からの取り組みじゃなかったんですが、糖尿病も子どもの時からの生活習慣であるとか、あるいは今現在の高濃度、濃い味、甘い味、高カロリー、高脂質食の中で引き金になって、中年以降にそれが発症する人がたくさんいる。そして、それぞれが非常に治りにくいということが歯周病と糖尿病との関連性の中で取りざたされておりますので、我々歯科医師会の方も医科の方の糖尿病に対する知識、あるいはそれが歯周病とどう関わるのかということも勉強しつつ、松阪医師会とか薬剤師会との連携の中で成人病対策として取り組みを始めないといけないということで、研修会、会員周知を行っておるようなところでございます。

もう1つ、松阪保健所長と連携させていただきまして、ちょうど3月になってきますと東日本大震災があったわけですが、この松阪の地域の方でも津波ということになった時には非常に甚大な被害があるというようなことは報道で色々取りざたされておる中で、歯科医師会はそういった場合、水難に見舞われた遺体が多かった場合に身元確認という使命をもって色々関係省庁の方から出動依頼がされる訳なんです。それと、その後避難所の中で生活が長引いた時に、口腔内の状態が非常に悪いと、お年寄りを始めとして災害関連死というのが起こってまいります。それというのは摂食嚥下、それから口の中が汚いことによる、色々避難所ではそういうことが改善されないことか想定されますので、これについての誤嚥性肺炎というようなことの取り組み、それから一医療者として避難所の中でどのように、避難の住民の方にいろんな支援、あるいは指示といいますか、組み立てを提案するというような役も担わなければな

		<p>らないということで、保健所長さんと色々勉強もさせていただいて、保健所の施設も使わせていただいて、保健所の取組みも参加させていただいて、医師会とも連携させていただいて、そういった震災に対する歯科医師会としての多岐にわたる体力づくりということを積極的に進めておりますし、また進めていきたいというようなことで。この2つが健康づくりとは少し違う面もありますが、社会の資源としてより体力をつけようという形で活動をさせていただいております。大きくはその2点でございます。</p> <p>ありがとうございます。お分かりいただけましたでしょうか。我々も糖尿病と歯周病の関連性から、糖尿病の患者さんに歯周病からの治療のアタックをするように、今やっております。それともう1つ大事なのが、災害時の我々の対応なんです、これも訓練していないといざ起こった時にあたふたするものですから、今の内から担当を決めて、役割を決めて、衛生士会の方々と一緒にしていこうという取組みをやっておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。もう1つ、実は中央と市民病院の方と提携して無呼吸症候群の取組みも行っておりますので、またそういう話題もお耳に入るかと思ひますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>衛生士会の方から何か取組みについてありますでしょうか。</p>
	<p>会長</p>	
	<p>委員</p>	<p>よろしくお願ひします。歯科衛生士会としましては、フッ化物洗口事業以外に幼稚園、保育園それから小学校、中学校に至るまで、染め出しを實際行って、歯の健康それから体の健康についての健康教室というのをフッ化物洗口とは別で行っている幼稚園もござひます。中学校におきましては、歯肉炎についても将来に向けてということで、そういったお話もさせていただいております。高齢者につきましては、いきいきサポーター講座や、そのサポーターさんのフォローアップ講座、そして各地域での自主グループにおかれましての活動について私たちの方から出向きまして、高齢者様たちの自立支援、それから地域でお過ごしいただくためにということでそういったお話しをさせていただいております。そういったことから、最近ではもちろん包括様が主催でやっただくんですが、参加者様の方か</p>

		<p>らこういったお話が聞きたいとか、こういったことはどうなんだろうといった提案も最近ではいただけるようになってまいりました。そういったことから、地域住民の方が健康に地域で暮らせるようになればというような方向で、私どもの方では取り組ませていただいております。そういった元気な方々はいいんですが、そこに出向いて来られない方につきましては、松阪地区歯科医師会の先生方のご支援をいただいて、口腔ケアステーションの方で出向いて口腔ケアをさせていただいております。そういった取り組みを今後ともさせていただいていく所存ですが、口腔ケアステーションの活動につきましては、担当の方からお話しさせていただきたいと思っております。</p> <p>委員</p> <p>実際介護が必要になった方は、口腔ケアというのはご存知のように誤嚥性肺炎の予防や他の疾患の予防にもなるということがわかってきていますので、在宅や施設に訪問して、ケアは毎日必要ですので、家族さんや職員さんにもケア方法を指導したりしています。また、嚥下状態が悪くて胃ろうになる方が多いですので、少しでも経口摂取できるように嚥下訓練なども行っております。また、今のところは嚥下が通常できている方にも機能訓練を行うことによって、その予防にも取り組む活動を行っております。</p> <p>会長</p> <p>ありがとうございました。幼稚園の先生や学校の先生にはちょっと分かりにくかったかも知れませんが、我々の取り組みとして、今在宅で困っている方々への支援をやっていこうとしておりますので、よろしくご協力のほどお願いしたいと思います。</p> <p>会長</p> <p>3の協議事項（1）平成31年度以降のフッ化物洗口事業について入りたいと思っております。</p> <p>① ～③について事務局より説明を願います。</p> <p>事務局 (こども未来課)</p> <p>資料4をご覧ください。先程、経年の報告はさせていただいたのですが、新年度平成31年度は三雲南保育園、花岡保育園、やまなみ保育園、山室幼稚園、三雲南幼稚園、射和幼稚園の方を準備しております。三雲南につきましては</p>
--	--	--

	<p>(学校教育課)</p>	<p>幼稚園・保育園併設の園でありますので、こちらも共同にしまして、保護者説明会や、園児への指導実施とかを調整していただく予定であります。平成 29 年度の三雲北保育園と幼稚園との動きを、すでに三雲南の先生方に見ていただいております。スムーズな準備に入っていただけるかと思っております。新年度におきましては、平成 30 年度から養護教諭の方がこども未来課の配属になっております。ありがたいことに、歯みがき指導を全園実施していくということで事業の方を決めております。保健師と養護教諭の 2 人で回って、ここでもまたフッ化物の事業等の説明や指導等に入らせていただきたいと思いますと思っております。今年度はやっぱりなかなか洗口開始までの時間の予定が中々立たないところがありましたので、その辺りも一緒に相談を受けながら円滑に事業が進んでいくように進めたいと思っております。</p> <p>同じく資料 4 の 3 段目のところをご覧くださいながらお話を聞いていただきたいと思いますですが、まずもって冒頭の報告でも担当の方から言いましたが、今年度から小学校の方がスタートしました。これについては、会長始め学校歯科医の皆さん、それから歯科衛生士の皆さんに大変ご協力をいただいて、また学校の方にもその受け入れをしっかりといただいて、実施することができました。本当にありがとうございました。今年度同様、来年度以降もやっぱり丁寧にこういう準備をしていかなければいけないなということ踏まえて、先程事務局からもありました専門部会の方で平成 32 年度の実施校について検討をさせていただきました。その大元になるのが、先程提案があった幼稚園と保育園の実施園を前提として、経験のある園児が入学してくる学校を中心に選定させていただきまして、第三小、射和、山室、米ノ庄、香肌、宮前の 6 校にさせていただきたいと思っております。またご協力いただきたいと思います。</p> <p>続きまして、次のページをめくっていただきまして、小学校に関する来年度のスケジュールなんですが、これは実施が決まっている第一小、第二小、阿坂、港、掃水、大河内なんですが、これにつきましては 4 月の P T A 総会で全体に校長先生が説明していただいてから、4 月 5 月 6 月 7 月の夏にかけて、まず職員全員でこのフッ化物洗口について認識を高めてもらう期間として研修会をもってまいります。併せて、もうすでに今年度実施している学校が市内に</p>
--	----------------	--

		<p>ありますので、職員の皆さんにはそちらを見に行っていた だいて、実際にこういうことをするならということをは 握んでいただく期間になると思います。夏休みが過ぎてから 歯科医師会の皆さん、歯科衛生士会の皆さんにご協力いた だいて保護者や1年生の説明会、それを経て水でのブクブク うがいの練習、実際のフッ化物を使った洗口という流れで、 この平成31年度の準備を進めてまいりたいと思います。</p> <p>ただいま事務局より説明のありました平成30年度以降の フッ化物洗口事業について、ご意見、ご質問はございませ んか。</p> <p>いつもご協力ありがとうございます。平成31年度の実施 校の年間スケジュールについて少しお尋ねします。夏くら いまで平成30年度に行っていた小学校への見学とか色々行 かれるということなんですが、去年は8月に職員研修会と いうのを2回程小学校へ行かせていただいていたんですが、 来年度のどのようなスケジュールになるか教えていただ きたいのですが。</p> <p>今年度は7月と8月に4会場に分けて職員の研修会を行 っていただきましたが、来年度も同じような形で、7月から 8月にかけて、ちょっとまだ来年度の職員への研修会の日 程等ありますので、今年度と同様レベルの形でお願いでき たらと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>ありがとうございます。出来る限り早めに日程を教 えていただけるとありがたいなと思ひまして。各校医の先 生や色々スケジュールが埋まってこられている先生が いますので、なるべく早めにスケジュールの方決まり次第 教えてください。よろしくお願いします。</p> <p>それと、今6校始まりました。今年も平成31年度も6 校で12校になってきますが、慣れてきた時に少しスピー ド感を持って2学年ずついかれるとか、そういうことは考 えられていますでしょうか。</p> <p>そういったことは学校の判断になると思うんですが、 今年実施された学校につきましては、意向をお尋ねさせ ていただいたら、来年度については1・2年ということ</p>
	会長	
	委員	
	事務局 (学校教育課)	
	委員	
	事務局 (学校教育課)	

	<p>副会長</p>	<p>る予定だと聞いております。これも先程先生が言われたように、もっと学年が上がって学校の1・2・3大半がするようになったら、最後の5・6年は一斉にとかそういったあたりを学校での実情に応じて、ご要望があればこちらも検討させていただきたいと思います。そういったところで、どうしても1年ずつではないとダメだということでは考えておりません。</p> <p>洗口時に使用する音楽CDですが結構ゆっくりと分かりやすい音楽なので、来年度の2年生も3年生も4年生も5年生もずっと上がって6年生もこのCDはちょっと低学年ぽいかなという気がします。中学校が始まるのが、うちの始めた子ども達が4年生になる時期ですので、その頃になったらやっぱり中学生に合わせたテープを使えるのかなと思って、ちょっと今、なんでなんですかと聞いていたところです。もう1つ聞いていたのは、2年生になったらいつから始めるのかなと。4月当初は慌ただしいので、少し置いてから始めていいのかなと。このことを聞かせてもらいました。でも、ここに入れていただいていますので、夏休みにはしなくても十分だという話も聞かせてもらっていますので、そんなに慌てなくてもいいのかなと。担当は分かっているんだけど、違う学校の先生は心配なのかなという思いがあったので、そういうのも周知していただければありがたいなと思います。</p>
	<p>会長</p>	<p>洗口用のCDあれ本当は松阪市で作ってほしいなという意見を今出しているんですが、なかなか予算がつかないみたいなので、できたら歯科医師会もバックアップしますので、出来るだけ皆さんの意見に沿うようなものを作っていたければなという風に思っております。それと2年生の開始時期については、もう一度、行政の方とお話しさせていただいてしかるべき時期を決めさせていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>以上、協議事項（1）についてご審議いただきました。委員の皆様ご承認いただけますでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。</p>

	<p>会長</p>	<p>次に、協議事項（２）平成 31 年度のライフステージ別の取り組みについて事務局より①～⑤について説明を願います。</p>
	<p>事務局 (健康づくり課)</p>	<p>平成 31 年度の乳幼児期の取り組みについて健康づくり課よりご説明させていただきます。お手元の資料⑥をご覧ください。幼児健診、健康教育、相談等において保護者への仕上げ磨きや家庭用フッ化物利用、おやつの指導を実施していきます。特に健康センターはるるでは各事業において利用者が増加している状況です。はみがきの相談事業においても利用のニーズが高くなっているため平成 31 年度からは、従来の歯みがきの相談事業の他に健康センターはるるで新しく開催する子育て教室において保護者やお子さんを対象とした、むし歯や歯周病予防の教室を増やしていく予定です。また、フッ化物洗口推進事業についても今年度に引き続きこども未来課と連携して事業を実施していきます。私立幼稚園についても本事業の運営はスムーズに進められるよう、健康づくり課が直接窓口となって取り組んでいきたいと思ひます。</p>
	<p>(こども未来課)</p>	<p>平成 29 年度の保育園児におけるむし歯の保有率としては、2 歳児クラスが 8.5%、3 歳児クラスが 20%、4 歳児クラスは 30.6%、5 歳児クラスは 33.7%、全体では 23.9%となっております。年齢が大きくなるにあたり、むし歯の保有率、有病率が上がっていくのは例年なんですけど、地域性もあるんですけど、未治療の園児が数値を持ち合わせてはいないんですけど数名みえます。その園児に対しては、保護者あと保育園の働きかけを今年度もさせていただいております。年度末にはもう一度再度確認いたしまして、そのむし歯の有病児の方についてはどのようになったのかというのをまた見ていきたいと思っております。</p> <p>幼稚園におきましても、平成 29 年度のむし歯有病率としては 5 歳児が 29.0%、三重県の 35%とは少し下回っているののでいい方向かなと思っております。今後も歯科指導や保健だより等の発信をしていまして、むし歯予防に取り組む保護者と園児、園の体制を整えていきたいと思っております。</p>

	(学校教育課)	<p>学齢期についてです。まず 1 つ目です。小学校におけるフッ化物洗口の導入と継続支援ということで、まず導入に関しましては平成 31 年度の 6 校をスムーズに進められるように支援していきたいと思っております。また平成 32 年度の発表が先程ありましたが、その 6 校も前年度ということになりますので、今年度行なったような形で先進地視察に行ったり、事業説明会を行ったりという辺りで、こちらの方もスムーズに進められるように支援していきたいと思っております。また平成 30 年度、今年度の 6 校に関しましては継続ということになりますので、その辺りの支援をしていきたいと思っております。2 つ目、各小中学校の実態に応じた歯みがき指導の充実が図られるように進めていきたいと考えています。</p>
	(健康づくり課)	<p>妊娠期の歯科保健の充実を図るため平成 30 年度から松阪地区歯科医師会の協力を得て医療機関委託方式での妊婦歯科健康診査を実施しています。4 月からの 1 月末までに 295 名の妊婦さんが受診しています。母子手帳発行時や転入の妊婦さんに受診券を発行し受診勧奨を丁寧に行っています。結婚を機に転居され歯科受診が途絶えてしまっている方にも、新しい居住地での、かかりつけ歯科を見つけて貰う良いきっかけとなっていると思います。また、歯周病検診についても平成 30 年度より国の指針に対象者を見直し実施しており 7 月から 1 月末現在で 275 名の方が受診されています。対象者を限定しましたので受診者数は少なくなっていますが昨年と同じ対象者での受診者数は昨年の 247 人よりも現時点で上回っています。今後も受診率向上に向けて、地域の健康講座やケーブル TV での健康情報番組を活用して両健診の啓発を行っていきます。また各地域でも健康教育・出前講座を実施していきます。健康センターはるるでは高齢者支援課と協力して 60 歳以上の方を対象に食事・口腔機能向上・運動をテーマに 2 回シリーズの教室を実施しています。こちらも 60 代から 80 代の方の参加があり好評で次年度も継続して実施していきます。</p>

	<p>会長</p>	<p>年齢的に①②③で一回切って、何かご質問ご意見がありましたら。</p>
	<p>委員</p>	<p>乳幼児期の取り組みで、この取り組みでよろしいんですが、実は条例をみながらお話しさせていただくと、1.6歳児健診、3.6歳児健診、ある程度歯が出てきた時からの取り組みがスタートという形に今設定されているように私は思います。妊婦健診も先程設定されましたように、妊婦はすぐ出産をされて子育てということがありまして、もちろんそのベビーもミルクを飲んだり、あるいは離乳食とかいろんなことが当然起こってきておりますので、実は口腔機能の増進を考えますと、全て離乳期あたりからの取り組みも必要ではないのかなと思います。歯がないのだから、ドロドロとかペースト状の離乳食を与えているということの認識で私はいたわけですが、昨今によりましてそうではなしに、もう少し固形物を、離乳期と言いましても全部咀嚼できるような歯がはえておる訳ではなくて、そういったある程度の歯ごたえのあるものを手づかみで、いろいろ咀嚼運動の機能増進を目的として与えることによって、いろいろなこれからの歯の生え方、あるいはそれによる幼児期の摂食の仕方、それから若い時期からの味覚に対しての指導とかというようなことも、本当にこの頃のメディアでは小さな子どもを狙ったかのような食品あるいはおやつということが氾濫しておりますので、後々の糖尿病に関しても見ていきますと、こういったことをもう少しベビーの時から取り組みが必要になってくるのではないかなと思っておりますので、また一緒にいろいろ指導をいただきたいと思えます。それから学齢期ですが、学校教育課からの2段階ですが、各小中学校の学年に応じた歯みがき指導の充実。これはむし歯予防にも貢献することはもちろんですが、多分これを条例として見ていきますと、各ライフステージの中でどのように学童期が成人につながっていけばいいのかというような視点の中で、中学校それから小学校の高学年というのはどうしてもおやつの摂取やスポーツドリンクの摂取もさることながら、成人期に起こってくる歯周病予防のための歯肉炎予防ということをしかりとされるような視点があるのではないかなと思った次第であります。先般、美濃加茂市の方に一緒に行かせていただいたところ、すばらしいブラッシング指導とかを目の当たりにしまして、そ</p>

これはまた先生が教えるのではなくて、上級生が下級生に教えていくというのがスクールでの健康教育というのでしょうか、そのような取り組みもあったのでそれもやっぱりちょっと頭の片隅にちょっとにらみながらというのはいかがでしょうかと思いました。それから、健康づくり課のフッ化物洗口事業実施校への支援ということですが、これは県の植嶋先生であるとか、奥野さんとかにお願いしないといけないことだと思うんですが、県は県でこのような健康保険の目標値あるいは実施指針というのは持っているとして、その中で今回松阪市のこの協議会にも支援的にいつも参加していただいておりますので。実は全県的に見ますと、フッ化物洗口は成人期になってのいろいろな健全な成人になっていくための育ちというのがある中で、子どもに的を絞っている。しかし、全県的に見ますと松阪市は非常に先進的な取り組みを今しておるということで、これをぜひモデルにさせていただくようなバックアップを松阪地区に頂戴したいと思います。松阪地区といいますと1市3町ありますが、3町はなかなか進みませんので、なかなか歯科医師会だけで手いっぱいでございますので、手詰まり感がありますので、県の方でそういった遅れている地域に対して、まずは松阪地区に対して県が主催の研修会を開いていただくような取り組み、あるいは予算取りというようなこともちょっと出来ればお願いしたいなと思っています。それがまた今の松阪市のなき道を探っていく中での非常に励ましと推進になると思いますので、お願いしたいと思います。更に成人期、妊娠期でございますが、妊婦歯科健診それから歯周病検診。先程も少し申し上げましたが、成人期になりますと糖尿病というのは生涯の病でありますし、その他にがん疾患であるとか、あるいは神経疾患であるとか、いろんな腎疾患であるとか、合併症を一緒に抱えていくわけです。医療費も非常にかさみますし、そういったことをこの中学校辺りからブラッシング指導あるいはフッ化物洗口もそうですが、それをこの成人期につなげていただく。その中では歯周病検診とかいうものを、検診で済むのならばこれは市の財源としても随分少なくなくて済むのではないかなと思っていますので、そちらの方も手厚くあるいは考えていただくようなこれからの取り組みあるいは施策をまた新たに出していただきたいと思います。お願いします。

	<p>会長</p> <p>事務局 (高齢者支援課)</p>	<p>ありがとうございました。よろしく申し上げます。では、④高齢期の方をよろしく申し上げます。</p> <p>日頃より地域包括ケア推進にご協力いただきましてありがとうございます。平成31年度に引き続き介護予防の推進を目的に口腔機能向上に関する取組みを実施していきます。三重県歯科衛生士会松阪支部様のご協力を得て、各地域包括支援センターが開催する介護予防教室や地域の宅老所、サロンへの出前型介護予防教室において口腔機能の維持、向上に関する指導を行っていきます。この際、誤嚥性肺炎予防についての指導に併せて肺炎球菌ワクチンの違いについてもPRしていきます。また、地域で介護予防に取り組む集いの場への専門的指導を継続していきます。介護予防いきいきサポーターの養成も継続し、介護予防への関心も高めていきます。</p>
	<p>会長</p> <p>委員</p>	<p>ありがとうございました。そしたら、高齢期のみで何かご意見ご質問がございましたら。</p> <p>介護予防の地域で活動するサロンとか集いの場等で専門的な指導等とありますが、公民館でやったりとかそういうところで誤嚥性肺炎であったりとか介護予防的なことについて、歯科医師会に相談いただければそういう部署がありますので、担当の先生に行っていただくこともできますので、積極的に我々を活用していただければと思います。よろしく申し上げます。</p>
	<p>会長</p> <p>事務局 (障がい福祉課)</p>	<p>誤嚥性肺炎が非常に問題になっております。そういう説明の場があれば、ぜひ言っていただければ部署の者を派遣しますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それでは⑤障がい者、要介護者についてよろしくお願ひします。</p> <p>障がい福祉課につきましては、毎年度同じような記述で恐縮でございますが、障がい福祉のサービスを紹介しております障害福祉のしおりに三重歯一トネットのページを用</p>

		<p>意しております、一般への周知に活用させていただいております。また、ケースワーカーの職員も保護者、あるいは障がい者、障がい児の保護者から口腔関係の相談があった場合には、三重歯一トネットをご案内しております、引き続き丁寧な情報提供に努めてまいりたいと思っております。もう1つ、子ども発達総合支援センター育ちの丘におきまして、歯科医師会さんはじめ関係機関の皆様のご協力を得て歯科健診と歯みがき指導を実施していただいておりますが、平成31年度につきましても引き続き実施させていただきたく、お願いをしたいと思いますと考えております。</p> <p>(高齢者支援課)</p> <p>平成31年度の家庭介護教室を継続し、要介護状態における口腔ケアの重要性を普及していきます。食べる機能や嚥下機能の低下を予防・回復させるために高齢者自身が口腔機能向上の意義を理解し、意欲を持って取り組んでいただけるようにします。また、地域包括ケア推進会議主催他職種勉強会において、歯科医療職の方々と介護職の連携を図り、在宅療養されている方への口腔ケアの充実を目指していきます。</p> <p>会長</p> <p>ありがとうございます。では障がい者、要介護者に関して何かご意見ご質問があればお願いします。</p> <p>委員</p> <p>障がい者歯科についてなんですが、先程障がい福祉課の方からも三重歯一トネットについてご説明いただいたんですが、三重県歯科医師会の津の方に障がい者歯科センターがありまして、そちらの方に松阪地区から患者さんも治療を受けてもらってます。障がい者歯科センターが結構人数が多くて受け入れが難しいということもありまして、障がい者歯科センターとこちらの地域の歯科医院と連携をして患者さんを診ているという流れになってきていまして、松阪市では地域の核となつて連携をしていただく歯科医院として、松阪市の方からは鈴木歯科クリニック、多気町の黒井歯科クリニックさんをお願いすることになりましたので、またそちらの方もご周知いただければと思います。</p> <p>会長</p> <p>ありがとうございます。その2つの医院でしか受けるのではなくて、一応松阪市の核、それから多気郡の核ということで2人をご指名させていただきました。それぞれの歯</p>
--	--	---

	アドバイザー	<p>科医院でも対応できる場所は対応しますので、ご理解していただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p> <p>では、まとめまして①～⑤までで言ひ残したことはございませんでしょうか。</p> <p>なければ、今後の県の補助事業や三重県の計画についてアドバイザーからご説明お願ひします。松阪市への補助の助成とかを頑張っていたきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。</p> <p>松阪市さんの取組みをいろいろご紹介いただきまして感じているのは、先生方からお声が出ています通り、本当に先進市であるということだと思ひます。実は3月15日に歯科保健の担当者会議を開催させていただき予定がございませんですが、そちらの方で松阪市さんの取組みをご紹介いただくような形で現在お願ひをさせていただいております。具体的には、前半の方でご説明いただきました学齡期におけるフッ化物洗口の取組みの辺りでございません。そちらの方は毎年県の方ではモデル施設、モデル事業に参加してございまして、そちらの方をご活用いただきながら小学校への取組みへつなげていっていただいているという風にこちらでは理解してございません。次年度もまだ予算要求段階ではありませんが、今年度の事業を継続的に続けていけるような形で予算要求をございまして、また次年度も新しく幼稚園・保育園、小学校でもされませんが、幼稚園・保育園の方でおそらくモデル事業をご活用いただけるかと思ひますので、ぜひそういった辺りを活用していただくと、あと研修会も、フッ化物応用研修会そして学校歯科保健先進地視察研修、こちらも今年度も開催させていただいてございまして、次年度も事業を実施したいと考えてございません。そういった辺りでしっかり予算化をさせていただいていると思ひますが、委員から言ひいただきました県主催の研修会となりますと、やはり全域的で考えることが多くて、そういった辺りなかなかこちらの地域に来てということが難しいことございません。ですので、県としましては、現在各市町村別に訪問させていただいてそういった対応をさせていただいてございません。委員、もし何かお声を聞かれるようであれば、市町さんの方に直接例えば県と調整してもらえれば、県の方から説明に行くということをお願ひいただきましたら、我々の方で対応をさせていただきたいと考</p>
--	--------	--

えておりました、現在もう既にいくつかの市町さんの方では研修会の時間をとっていただいて、フッ化物洗口のご説明もさせていただいているような状況でございますので、次年度もそういった形で県の方に直接ご依頼いただければ、我々医療保健部や、県の教育委員会さんも我々と一緒に動いていただいているような状況でございますので、そういったところでしっかり丁寧に対応していきたいと考えております。他にもたくさん事業をしていただいている、歯一ネットの周知も障がい者のしおりに入れていただき、非常に感謝しているところであります。実は先日、しおりに入れていく原稿の校正依頼をいただいたところでして、やはり松阪市さんはそういったところもすごく進んでいるなど、我々も歯一ネットの活用が少ないことや、あるいはセンターの方の受け入れがやはり人数の都合上難しいというようなところがございまして、そういった対策の方もしっかりやっつけていかなければいけないと考えている次第でございます。松阪地区歯科医師会の先生方の方で核になる先生を作っていただいたということに関しましては、本当に感謝申し上げます。ぜひ、こういったことが他の地域でも進むようにいろいろな取組みを松阪モデルとして、我々の方からもご紹介させていただきたいと感じております。あと、在宅であったり、高齢者であったりという辺りも、地域口腔ケアステーション、松阪地区の先生方の地域口腔ケアステーションは非常に進んでおりました、認知度も高いところでございます。こちら地域によって差があるような状況でございますので、そういったことがなくなって、松阪市さんは恐らくしっかりされておりますので、市民の皆様がお困りになるようなことはないと思うんですが、松阪市におられた方が他の地域に出られたあとも、やはりしっかり他の地域口腔ケアステーションで見たいような形で事業が成立するようにしていきたいと考えております。今後もそういった事業を継続していきたいと考えているところなんですが、実はフッ化物洗口のモデル事業なんですが、実は次年度は小学校を優先的に選ばせていただくような形で検討しております。やはりそもそもの意義を考えた時に、幼稚園・保育園で実施して終わりということではなく、永久歯のむし歯予防を考えて実施しなければいけないものになりますので、その辺りを市町の皆様、あるいは実施していただく施設の皆様にもご理解をいただきながら進

		<p>めていきたいと考えております。ただ、松阪市様は小学校の方は全て市単でしていただいているというような状況でして、小学校での広がりのために幼保の方を、今していただいている幼稚園からやはり永久歯が生えているお子さんもいらっしゃると思いますので、そういった辺りがしっかりカバーできるようにということで、松阪市さんは今後もぜひ幼稚園・保育園の方でモデル事業の方を活用していただけたらと思います。最後に宣伝になるんですが、実はこの2月28日（木）に三重歯一トネット研修会というものが、津の三重県歯科医師会館の方で開催されます。時間は1時半からになるんですが、こういった研修会をさせていただきながら、障がい児者の歯と口腔の健康について一緒に考えていっていただけたらと思っております。本年度は小児の障がい児の摂食嚥下障害を中心にお話をしていただくことになっておりますので、ご興味ご関心のある方はぜひこちらの方にもご参加いただけたらと思います。ありがとうございます。</p> <p>会長</p> <p>ありがとうございました。 それでは①～⑤までの協議につきまして、皆さんご承認いただけますでしょうか。 ありがとうございます。 （3）平成31年度の関係団体の取り組みについてと書いてありますが、今日の協議に参加していただいて皆様からひと言ずつご意見をお聞きしたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p> <p>副会長</p> <p>失礼します。子どもの頃や若いうちは健康が当たり前というつもりでいました。風邪を引いてもいつか治る、むし歯になっても歯医者さんに行ったら痛いけど治してもらえる、という思いでいました。数年前歯医者さんに行ったら、タバコを止めないとアカン、歯の裏が真っ黒、肺ももう真っ黒と言われても、何とかなるという気持ちでいました。だけど、やっぱりこれは治らないものだなと、健康って普段から考えなくちゃいけないなというのが本当に参加させてもらって思います。歯に関しても、子ども達は歯をみがくことで健康について考えて、そういう取組みをすることで継続的に取組むのが大事になってくると思います。そし</p>
--	--	---

	委員	<p>てこのフッ化物のうがいについても、やはり日頃から取組んでそれが自分の健康につながっていくんだという意識を持てる機会だと思います。歯だけじゃなくいろんなことについて、取組む機会になればと思います。本当にいろいろありがとうございました。</p> <p>今年度うちの学校もフッ化物洗口が始まったんですが、ちょっとその報告をさせていただきたいと思います。今、本当にスムーズに子ども達はしています。本当にここに来るまで、関係団体や本当に先生方にはいろいろなご助言であったり、ご協力であったりいただいたお陰かなと思っています。保育園・幼稚園から入学してきた子ども、うちの学校では85%くらいの洗口を経験した子が来ています。半年間くらい空いてたんですが、ブクブクうがいが始まった時点で本当にとっても上手にやってくれるんです。歯科衛生士さんに来ていただいて歯科指導をしていただいた時も、本当に子ども達がかくいついてずっと歯科指導してもらって、普段私がしているのは一体何だったんだろうみたいな時もあったんですが、本当に歯科衛生士さんに来ていただくとはやはり本職だなという形で、来年度以降も継続していただきたいなと思いつつも、実施6校の養護教諭が本当に同じ思いでありますので、新規のところでも6校という形でどんどん継続していかれるということは聞いているんですが、単独でもちょっと声をかけさせていただいたら、嫌な顔をせずに学校の方まで足を運んでいただきたいかなと思っています。本当に子ども達はスムーズにやっていますが、やはりスムーズさ故に見えてくる課題もたくさんあって、慣れてきたらちょっとふざけてしまう子であったりとか、コップに直接自分の口に含んだまま吐き出せない子がいたりとか、それを洗うのに水道に行くんですが、そこで丁寧に洗う子、パッと洗ってしまう子、それぞれ本当に子ども達様々な様子が見られるんです。そこをどういう風な形で指導していったら、授業時間にもやっぱり食い込んでくることがあるので、その時間短縮をどうやってはかかっていこうかというところなり、また複数学年になってきた時に、今うちはお昼にやっているんですが、朝やっている学校さんの話も聞かせてもらいながら、いつやっていくのが本当にいいのだろうかというところもちょっと考えていかななくてはならないかなという課題も見えてきましたの</p>
--	----	---

		<p>で、また来年度以降もスムーズに安全に子ども達がフッ化物洗口に向かっていけるような形で、また考えていきたいと思えます。学校現場も混乱しないようにという形でいろいろ考えていく上で、やはり関係団体の先生方に本当にご協力いただきながらということを考えておりますので、またいろんなところでご助言なり、ご指導なりいただきたいと思えます。ありがとうございます。</p> <p>会長</p> <p>先程、校長先生と話をしている時にも耳に入ったんですが、複数学年になってきて洗い場が混雑というようなことがあれば、1つの解決方法としては、週1回法なので学年によって曜日を変えるという方法が一番ベストかなと思うので、また考えましょう。よろしくお願いします。</p> <p>委員</p> <p>1年間携わらせていただいて、本当にいろんなことを勉強させていただいたなというように思っております。来年度、自分の学校でも始まりますので、ここで学んだことを広げていきたいなという風に思っていますし、何よりここに参加させていただくと、フッ化物洗口ってとても大事なものだと感じつつ、ただこれを他の職員の方に広げていくのが大事かなと。先程言っていた研修会とかの機会を利用して、いろんな方に広げて、そしてやはり教員です子ども達に万が一の事故がないというようなことを目指して関わっていききたいと思えます。またそれと共に、ここに養護教諭さんのかなり仕事の面での負担が増えますので、その辺りを職員で話し合いながら出来るだけ軽減できるようにしたいなと思っております。1年間ありがとうございました。</p> <p>委員</p> <p>どんどん進んできているフッ化物洗口、それからむし歯への対応というところです。自分の口で食べて、それを自分の健康につなげていくということがとても大事なことです。ますますこれが進んでいくことを望みたいと思えます。私も離乳期の子ども達の栄養指導とかに関わるんですが、やはりお母さん又は保護者の方の意識の二層化というんですか、大変意識の高い方とそれから非常にもう少し意識を持っていただきたいという方の二極化というんですか、それを非常に感じているところです。末端までの周知徹底又は改善というところもどんどんこれからも進めて</p>
--	--	---

		<p> いただきたいなと思います。おやつがお菓子になってしまっているところ、非常に気になることです。離乳期からのやはり咀嚼と、それから飲み込み、それから舌の動きを含めて、歯が生えるまでの口の動き、これらも大変大切なところかなと思います。幼児期になって噛めない子、まる飲みしてしまう子、そういう子も非常に増えていっているところもありますので、そこも含めて歯科衛生士さんまたは歯科の先生方、それから関連団体も含めてそういう意識を徹底していただくように、繋がっていくといいなと思います。私も出来る限り協力していきたいと思っていますので、またこれからもよろしくお願い致します。 </p> <p> 幼稚園では給食を食べた後に、鏡を見ながら椅子にかけて歯みがきをしてキレイにみがけた後、また遊んだあと降園の30分前にフッ化物洗口をしています。それで、子ども達の意識の中にも歯に対する意識がとても高まってきていて、歯が抜けたよ、大人の歯が生えてきたよ、歯がこんなだよ、というのをとてもよく言うようになってきました。また、私が歯みがきをしているところとかを見て、金色の歯があるけどとかそんなことが気になり、よく言うようになってきて、子ども達はフッ化物も含めて歯を大切にしていこうという気持ちが幼児期に出てきたことは大事な、今はとても真面目ですので、ちょっとふざける子は今のところは教師や養護教諭が見ている中ですのでありませんので、小学校や中学校で継続していくといいなと思っております。ありがとうございます。 </p>
	委員	<p> うちの方も保育園ですので、乳児から就学前の子どもがいるんですが、やはりさっき言われたように、すごく意識の高い保護者の方と全くほったらかしの保護者の方や、なかなか歯医者さんに行ってもらえない保護者の方もあって、本当に極端というような現状は確かにあります。でも、フッ化物とかこういうのを保育園で開始するという事で、保護者の方に意識してもらおうこととか、またさっき言われたみたいに子ども自身が歯を大事にしないとということ意識していくことは、すごく幼児期から大事な事だなということを感じました。1年間ありがとうございます。 </p>

	委員	<p>これは健康づくり全般に言えることなのですが、一番何が難しいって成人期の方々に生活習慣を見直すのが難しく、今回は小学校や保育園で洗口が始まっているということで、もちろんその子達もいずれは大きくなるという事もあります。お父さんお母さん達もそれによって意識することができ、間接的に成人期にもいい影響を与えているという風に思って、貴重な事業かなと思っています。ただ委員がおっしゃったように、多気郡3町の方はやはり1歩進んで2歩下がるとかそんな感じでなかなか進まない感じですので、やはり地域の先生方、学校の先生方も歯科の先生方も含めて、みんなが同意した上で進めないとうまくいかないと思いますので、ちょっとずつ私どももバックアップしていきたいと思っております。それと災害に関してですが、来年度も研修会とか講演会も企画しますので、またご案内させていただきます。今後ともよろしくお願い致します。</p>
	アドバイザー	<p>先程もお話しさせていただきましたが、今年度から妊婦の健診とかも始めていただいて、それが乳幼児、学童期へまた繋がっていくのかなと感じております。県の方にも歯科健診を市町さんの方で事業化していただけたことに関しまして本当に感謝申し上げます。またフッ化物洗口の話に戻って大変恐縮なんですけど、音楽の話が出ていたと思うんですけど、実は音楽CDを使わない学校や学年もありますので、やはり4年生くらいまで使われて、5年生6年生になられたらもうストップウォッチで時間だけ計るといような方法も、他県の方でそのような形で対応されていますし1年生から音楽を使わずにストップウォッチで先生の声かけだけでやっているところもありますので、その辺りはもしよろしければご検討いただいて、学年が上がった時にどういう風にしていくかというのを考えていただけたらと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。</p>
	<p>会長</p> <p>委員</p>	<p>わかりました。参考にさせていただきます。</p> <p>私も最近は介護予防や口腔ケアステーションばかりで、歯みがき教室に参加していないんですが、私が参加していた時には、歯みがき粉の中にいい成分が入っていて、それが歯をカチカチの硬い歯にしてくれるんですと説明してい</p>

	委員	<p>たので、今の衛生士はしっかりフッ化物の説明をしてくれているのかなと思って嬉しく思っています。数年後、ある程度の期間が経過した時に効果が明らかになるように、これからも上手に進めていきたいと思えます。</p> <p>先程先生方の話にもありましたが、やはり知らないことということは問題かなと思って、知ってみたら実はこうだった、知らないことによって実は損していることがいっぱい多いよ、ということがあるかなと思って、それが高齢者の方にも言えるかなと思ひまして。私たちの方の教室でもいろんなことをお知らせします、機能訓練であったりとか、体操であったりとか。そういったことも、その人が知ってもらって、それを最初のお話しにもあったように広げてもらうことが大事だなと。フッ化物についてもそうで、知ってもらってそこからやはり広げていただいて、それがいいんだよということがもっともっと広がって行けばいいなという風に思いました。成人期についてですが、成人期はやはり抜け落ちる時期であるかなと思ひますので、衛生士会としましては企業様の方へ赴きまして、そういった講話などをすることも考えています。少しでも抜けのないように、こういったライフステージの中でも少しでも抜けがないようにという風に今後は取組んでいきたいかなと思っております。そして松阪市民全体が健康についていろんな意味で成長していけばいいなというところの助けに、衛生士会としてはなりたいかなと考えております。1年間ありがとうございました。</p>
	委員	<p>フッ化物洗口事業におきましては、こちらの報告書を見させていただきまして、薬剤管理を各学校・園様共に適切にきちんと薬剤の管理、また洗口液の調整をしていただいているようでありありがとうございます。安心しております。あと、歯と口腔の健康づくりにつきましては、薬剤師はどちらかというと後方支援的な意味合いで活用していただければいいかなと思ひますが、歯科医師の先生方、また歯科衛生士の先生方、医師の先生方、それから他職種の方々と協力して、薬剤師としてできることを進めていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>

	委員	<p>平成 31 年度の予定としまして、6 月 9 日に歯と口腔の健康まつりを予定しております。松阪市さんと協同で開催させていただきます。私事ではございますが、実行委員長をすることになりましたので、皆様よろしくご支援のほどお願いいたします。</p>
	委員	<p>歯と口腔の健康まつり、どうぞよろしく申し上げます。ちょっと小さなことなんですけど、この間 2 月 7 日にフッ化物研修会にたくさん教育委員会の方も行政の方も来ていただきましてありがとうございました。その中で、たくさん飲んじゃったとかそういうのは、ほとんど排出されるんですが、牛乳が飲めない子があつたりとかということで、カルシウム製剤、それをぜひとも学校などで常備していただきますようよろしく申し上げます。</p>
	会長	<p>本当にちょっと飲んだくらいなら何ともないんですが、安心のために今までは牛乳を飲ませて下さいということで、もしかすると牛乳アレルギーがある子だと困るので、そしたらカルシウム製剤を常備だけしておいてもらったら、何かあつた時に飲ませてもらつたらいいよ、というような話ですので、すみませんがよろしく申し上げます。</p>
	委員	<p>寿命がどんどん延びまして、この頃 90 歳は当たり前に生活していくようになったんだと思います。それから地域を見ると、少子高齢化が益々あるいはそれからだいぶ長いこと続きますし、松阪市におきましても少数の子ども達がたくさんの高齢者を支えていかなきゃいけないような、そのような社会状況になってくるんだと思うんです。その時に、どうやってこのまちを支えていくのか、子ども達の視点で、私は予防活動しているようなつもりでおります。先程、保健所長もアドバイザーの方からも 3 町に対してはいつも一緒にそれぞれの町の会議に出していただいております。いろいろ支えていただきましてありがとうございます。また、皆様方ともどこかで会うと思いますので、またその時はあまり嫌がらず、よろしくどうぞお願い致します。ありがとうございました。</p>

